

令和2年度の兵庫県理学療法士会の活動について

会長 岩井信彦（神戸学院大学）

新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、医療専門職として理学療法士は厳しい管理体制下で業務を遂行しており、会長として、日々の仕事に誠心誠意取り組んでいる会員諸氏に感謝を申し上げます。

さて、日本理学療法士協会は2020年度上半期（4～9月）に開催を予定している本会主催の学術集会、研修会等は開催しないことを決定しており、政府からの緊急事態宣言、兵庫県の特定警戒都道府県への指定等の情勢を踏まえ、士会活動を以下のとおりとさせていただきます。

○令和2年9月末まで 本会主催の事業の中止または延期。

- ・第32回兵庫県理学療法学術大会 1年延期：2021年7月18日（日）開催予定
- ・企画可能な事業の準備（10月以降）

○令和2年10月以降

- ・研修会・講演会等：対面での開催、動画配信等のICT（情報通信技術）の活用も視野を検討。（コロナ対応の情勢により10月以降の活動も見直す可能性あり）

*総会については、公益社団法人・一般社団法人法により開催が定められおり中止にはできないこととなっており、これに従い代議員選挙も規定通り実施させていただきます。（詳細は別途広報等で連絡させていただきます。）

この緊急事態に鑑み、会員相互の情報共有・意見交換のため、以下の対応策を行います。

- ・「新型コロナウイルス対策委員会」の設置
- ・SNS上での情報共有・意見交換（facebook等の活用を検討中）
- ・緊急アンケートの実施（各施設の対応状況・希望対応策の提言等）
- ・上記アンケートの結果を踏まえて要望事項を、県や関係機関、状況により議員等を通じて依頼

実施方法がまとまり次第、早急にお伝えいたします。

私たち理学療法士は医療専門職として、自身が感染しないこと、他者を感染させないことに万全を期す必要があります。このことが自身を、社会を守ることに繋がります。会員の皆様におかれましては、ご理解を頂きたいと思っております。